

## 「宝くじ松」配付事業 実施報告（平成27年度）

27年度は**6県、10団体、7,400本**のマツ苗木を配布しました

県	団体名	植栽地の名称
宮城県	大島緑の真珠を守る会	気仙沼市龍舞岬地区
宮城県	NPO法人 悠久の郷	復興緑化再生プロジェクトin亘理 杜の学び舎吉田中学校・長瀬小学校
宮城県	NPO法人 海への森をつくろう会	岩井崎
三重県	今一色区自治会	今一色北浜地区
島根県	NPO法人 国際交流フラワー21	島根県立浜山公園
愛媛県	上島町	法王ヶ原
高知県	黒潮町	名勝・入野松原
福岡県	三里松原防風保安林保全対策協議会	三里松原
福岡県	東高塚共有林組合	浜宮海岸防風林
福岡県	NPO法人 はかた夢松原の会	福岡市西部水処理センター北部法面



©(一財)日本緑化センター

平成27年度 植栽の様子（今一色区自治体）



©(一財)日本緑化センター

「宝くじ松」植栽場所には、マツ苗植栽の趣旨と、当センターならびに宝くじ協会の助成であることを明記した看板とラベルを設置している

平成27年度「宝くじ松」配布・植栽事業

No.	都道府県	団体名 (植栽地)	本数 (本)	マツの種類と規格 (m)	植栽趣旨
1	宮城県	大島緑の真珠を守る会 (気仙沼市大島地区内)	500	抵抗性クロマツ H=0.6~0.8(350本) H=1.0~1.2(150本)	先の東日本大震災によって当地(気仙沼大島地区)は甚大な被害を受けた。震災前の浜辺や海岸の松原、白砂青松の景観を取り戻し、また防風林、防潮林として先人が松を植栽し築かれた浜の姿、自然を再興するために松を植栽する。それと同時に郷土の未来、先人の想い、復興を植栽により再認識し、住民間の絆を高める目的もあり、それらの理由から植付を行いたい。
2	宮城県	NPO法人悠久の郷 復興緑化再生プロジェクトin亶理 (杜の学び舎吉田中学校・長瀬 小学校)	500	抵抗性クロマツ H=0.6~0.8	東日本大震災の津波の影響により、亶理町の4つの小中学校は大きな被害を受けた。2校の新築、2校の改修が終わり、環境整備が求められている。 NPO法人悠久の郷は、亶理町教育委員会の要請を受け、改修した町立吉田中学校の緑化再生プロジェクトを立ち上げ、東京農業大学入江教授の設計、指導により宮城県内の伝統である「いぐね」(屋敷林)の植栽手法による緑化を進めることとした。当地区は西風の防風林、潮風の防潮林の役割としてのマツが不可欠であり、津波によって枯死したマツを再生させる植栽を行うものである。
10	宮城県	NPO法人海への森をつくろう会 (岩井崎)	500	抵抗性クロマツ H=0.6~0.8	三陸復興国立公園の最南端に位置し、潮を吹き上げる潮吹岩がある場所で、松林に囲まれた美しい岬だったが、マツ材線虫病被害や震災の津波被害により、ほとんどのマツが立ち枯れ、景観が著しく損なわれている状況である。
3	三重県	今一色区自治会 (今一色北浜地区)	200	クロマツ H=0.5	松くい虫の被害による松の枯損や倒木が目立つため、新たに松を植樹し、松林の再生をはかる。
4	島根県	NPO法人国際交流フラワー21 (島根県立浜山公園)	1,000	抵抗性クロマツ H=0.5	公園内にある松は、不毛の砂丘であった場所に約250年前に地元の井上恵助さんが私財を投げ出し、日本海からの砂風を防風する目的で松を植えられた。その時植えられた松が、現在の浜山公園の松林となって、砂防、防風の役目を担っている。しかし、その松も近年松くい虫被害により毎年500本近くが枯れ、伐採されている。大切な松林を守るため、地元住民により抵抗性の松苗木を毎年植樹しているが、枯れた松の全てを補うことはできない。 地元にとって大切な松林を守るため、今回抵抗性の松を植え、少しでも松くい虫の被害を少なくし、後世に浜山の松林を残していくため、植樹を行いたい。
5	愛媛県	上島町 (法王ヶ原)	60	抵抗性クロマツ H=1.2m	近年、松くい虫及び台風による塩害等の被害により成松が枯れており、苗木を植栽することで松林の保全を図ることを目的に実施したい。
6	高知県	黒潮町 (名勝・入野松原)	640	抵抗性クロマツ H=0.3m	入野松原は、高知県立自然公園として国の名勝に指定されている松原を主体とした自然公園である。近年、松くい虫の被害等により、本来入野松原が担う公益的機能や環境景観形成など、後世に引き継ぐべき貴重な財産が失われつつある。入野松原の再生と適正な保全管理を行いたい。
7	福岡県	三里松原防風保安林保全対策 協議会(三里松原)	2,100	抵抗性クロマツ H=0.25~	三里松原は海岸からの風などの被害から周辺地域の農地を守るため、江戸時代から植林された松林で、日本の白砂青松100選にも選ばれている。また、面積が約430haと岡垣町の海岸線に沿って広がっており、町のシンボルともなっている。しかし、平成17年度以降、松枯れ被害が急速に拡大し、海岸線等の一部地域では壊滅的な状態となっている。このことが防風機能の低下や土砂の流出等を引き起こし、松原沿線の住民生活に影響を与えていることから、町民ボランティアによる植樹を実施する。
8	福岡県	東高塚共有林組合 (浜宮海岸防風林)	1,500	抵抗性クロマツ H=0.65	現場は観光名所としても有名な綱敷天満宮に隣接し、浜宮海岸は春は潮干狩り、夏は海水浴等で賑わっている。しかし、近年、松くい虫による松枯れのためマツが減少し、防風林としての機能維持が困難になっている。また、白砂青松としての景観も失われつつあるため、植栽を実施したい。
9	福岡県	NPO法人はかた夢松原の会 (福岡市西部水処理センター)	400	抵抗性クロマツ H=0.3	博多湾沿岸の埋め立て(1987)によって喪失した松林の再生を始めて27年。多くのボランティアの活動によって人工海浜は防風防潮機能を備えた豊かな白砂青松の景観が蘇りつつある。西は「生の松原」から愛宕浜、百道浜、地行浜、伊崎浜そして西公園へと繋がりがつつあるが、福岡市西部水処理センター北部法面の約500m(幅5.2m)にわたり松林が寸断された状況にある。したがって、この地に松苗木を植樹し一連の白砂青松の景観を創造し、博多湾沿岸に日本の原風景を再生する。
合計			7,400		